



4.4

2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

米澤 美保子
医療保健学部
口腔保健学科

相談援助職である社会福祉士の専門性と 利用者理解のための実習教育

地域共生社会の実現に向けて、様々な社会資源との協働や連携によって、多様化・複雑化する個人や地域等の課題に対応する専門職として社会福祉士が期待されています。社会福祉士は実践に基づいた専門職であり、人権の尊重に基づく実践能力が必要です。

いかに利用者を理解し、ニーズを把握し支援に繋げていくのか。実習は実践現場に身を置いて、現場の社会福祉士が人権の尊重を基盤にしてどのように実践しているのかを具体的に学ぶことに加え、実習生自身のものごとのとらえ方や価値観についての内省を繰り返すことを通して、社会福祉士としての専門的技術・知識の習得を目指します。



message

専門職としてのみならず、ひとりの人間としても重要である「ひとを尊重する」ことの醸成を今後も学生にはかっていこうと思います。